



みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。安曇野市政や議会が市民にとって身近になるために、虹 (= Rainbow レインボウ) の架け橋となるような議員活動をしていきます。望三郎の活動はブログやフェイスブック、インスタでもどうぞ。



●プロフィール
大分県出身 55 歳。東京経由で安曇野に移住し 21 年目に。三郷小倉に妻、妻の両親と暮らす。自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿 (ちきゅうやど)』を経営。安曇野市議 3 期目。好きな言葉は『出会い、共感、展開』

巻頭言 任期 1 年を残して

早いもので議員の任期も残すところ 1 年となりました。今期のこれまでの 3 年間で振り返ると、一般質問のテーマは、公教育のあり方 / 医ケア児 / 持続可能な農業への転換 (学校給食の有機米) / 子どもの権利 / 黒沢洞合自然公園の隣地開発 / 若者政策 / 北小倉ゴミ処理施設問題 / 地域循環共生圏の実現 (ゼロカーボン推進) / 地下水保全 / 世界農業遺産と多岐に渡ります。
このように、議会という安曇野市の最も公な議論の場でしっかり時間を頂いて行政のあり方を質したり、まちづくりの提案を市長や教育長らに直接できるのは議員としての特別な権利で、その特別な権利をしっかり行使する責任を果たさなければなりません。そのために各分野・各テーマにおける勉強をして知見を高める努力をしてきました。また市民のみなさんからの相談事は自分では知らない課題も多く、それに真摯に取り組むことは、議員としての力をつけるありがたい機会でした。議員は市民のみなさんに使われてナンボ、市民との距離が近い、使われやすい議員でありたいと改めて心して、残り 1 年の議員活動を頑張りたいと思います。

活動トピック

- ①通学路視察
6 月定例会に提出された陳情「穂高北小学校 狐島区スクールバス等の、児童の安全確保を目的とした柔軟な運用についての陳情」を市議会は賛成多数で採択しました。私が所属する福祉教育委員会では、子どもたちの安全のため早急に対応する必要があると判断し、該当区域のスクールバスの運行ルートを実際にバスに乗って確認する現地調査を行いました。見通しのきかないカーブや横断歩道のない交差点など危険箇所が多く、児童の安全確保のためには危険区域を徒歩通学する児童が全員乗車できるようにするなど市教育委員会には早急の見直しを要望していきます。
- ②自然保育議連の総会と明科北認定こども園視察
私が事務局を務める長野県内の県議、市町村議から成る自然保育推進議員連盟の総会を行いました。午前中には市から業務委託を受けて NPO 法人響育の里くじら雲さんが運営する明科北認定こども園を視察し、午後からは安曇野市行政を視察し、市の自然保育推進の取り組みとこども園と小学校の学びの接続について意見交換をしました。
議連としては、今後フリースクールなどの子どもの居場所を運営されている方たちとの意

見交流会や伊那小の視察など、園小連携の取り組みを進めたいと思います。



自然保育推進議連で明科北認定こども園を運営するくじら雲さんを視察

サポーターからの応援メッセージ ④



松本 猛さん
(穂高 / ちひろ美術館常任顧問、横浜美術大学客員教授、美術・絵本評論家、作家)
先日、保全生態学の第一人者で、信毎の「今日の視角」筆者でもある鷺谷いづみさんをはじめとした専門家が参加し、安曇野の環境保全や生物多様性について考えるシンポジウムが安曇野ちひろ美術館と松川村主催で開かれた。主催者の一員でもあったぼくは、望さんの友人で、有機農法でリンゴを作るおぐらやま農場の松村暁生さんにも声をかけ、その活動の一端を話してもらった。稲刈りの真最中だった望さんは来られないと聞いていたのに、彼は会場に現れた。常に自然とともに人間がどう生き

望三郎議員とのおしゃべり会

市政の様々な課題や関心持っているテーマについて、望三郎議員の考えを聴いてみたい、自分の考えも聞いてもらいたいという方、どうぞご参加ください。私も背広とネクタイを外し、市民のみなさんとざっくばらんにお話ししたいです。お子さん連れでどうぞ。
日時：11 月 4 日 (月) 午後 2 時～ 4 時
場所：蔵のカフェレストラン清雅 (豊科 3550-1)
※参加者は飲み物をご注文ください。また今回参加する議員は望三郎だけです。

るかを考え、安曇野市のオーガニック給食に取り組んでいる望さんにとって、環境問題に関する知見を得る機会は逃したくなかったのだろう。
ぼくが望さんに初めて会ったのは 2010 年。知事選の候補者だったぼくに「農業を教える会」が地球宿で開かれた。市議になる前の望さんはたくさんの魅力的な人を紹介してくれた。松村暁生さんもその一人で、ぼくは 2 年後に暁生さんをモデルにした『リンゴ畑の 12 か月』という絵本を出版した。望さんは不思議な磁力で人を引き寄せ、勇気を与え、人と人との心をつなぐ。だから彼の周りには素敵な人が集う。自然を愛し、自然体で、勉強家で、労をいとわず、謙虚なのにエネルギッシュで、笑顔が最高の望さんを、ぼくは心から信頼する。

9月定例会の一般質問

【質問1 安曇野の水は次世代からの預かりもの】

市歌に歌われるように安曇野は水と緑と光の郷です。中でも水は安曇野の象徴です。安曇野市の水環境基本計画では、「水は、次世代からの預かりもの」という理念を掲げています。私はこの水こそ、安曇野が最も失ってはならないものと捉えています。安曇野の水が今どうなっているのか、次世代からの預かりものを、次世代につなぎ返していけるのかを質問し、地下水盆は広域に広がっているため、行政区の枠を超えた広域での取り組みの強化と事業者による地下水の揚水量と涵養量の収支公表を提案しました。

望市議 安曇野の地下水量は減っているのか。

部長 安曇野市の地下水量は、昭和61年と平成19年を比較すると低下傾向。その後、平成27年と令和2年の調査では微増傾向だ。

望市議 行政区が変わるとルールも変わるのではなく、広域にまたがる水資源を広域のルールで管理する必要がある。広域における計画の策定を市としてもどう考えているか。

部長 協議会において、松本盆地流域水循環計画（仮）策定に向け協議を進めている。

望市議 市の計画には、事業者は地下から取った水は取った分だけ地下に返すという理念がある。揚水事業者がどれだけ汲み上げ、どれだけ涵養量も含めて地下に返しているのか。事業者単位での水収支公表の仕組みが必要ではないか。

部長 事業者ごとの水収支は公表できないが、全事業者のトータルの公表は可能。公表の仕組みづくりを審議会でも研究したい。

望市議 広域での取組のリーダーシップは水と緑の光の郷である我が安曇野市長の仕事で

はないか。

市長 令和5年2月に中信4市市長懇談会の場で、松本盆地における総合的な水循環計画が必要だと提案し、計画策定の動きにつながった。松本盆地全体の地下水メカニズムを解明しながら、松本盆地流域水循環計画の主要施策取組内容につなげる。

【質問2 安曇野を世界農業遺産に】

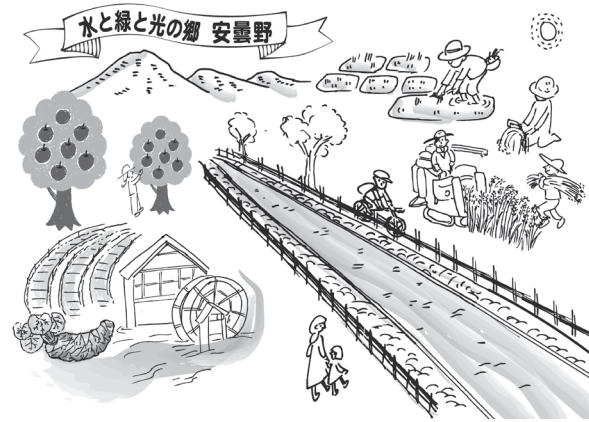
世界農業遺産とは社会や環境に適応しながら継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それによって育まれた文化、景観、農業生物多様性など、相互に関連して一体となった世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域として、国連の食糧農業機関が認定するもの

望市議 他に類を見ない安曇野の特徴は、雄大な北アルプスとそこに絶え間なく湧き出る地下水などの自然。これに農業という人間の営みが調和してきたこと。これが安曇野だ。安曇野がこれからも安曇野であり続けるために、世界農業遺産が応えることができるのではないか。

市長 水が織りなす安曇野市の田園風景は次世代に受け継ぐべきもの。世界農業遺産の登録は、農業や文化を保護、継承しながら、観光資源、地域ブランドとして活用することで地域経済の活性化、住民の誇りを高める効果が期待され、市の将来ビジョンに合致する。地域の関係する多くの皆様、団体含めて意見をいただき、検討を進めたい。

【まとめ】今回の2つの質問テーマに通底するのは、先人たちが創り、今日までつなげて来てくれた安曇野の宝、それは安曇野の象徴ともいえる水、そして人々が営み、生き暮らしてきたこの安曇野という農村環境そのものを、次の世代にどうつないでいくかというこ

とです。私たちが愛してやまない安曇野が、これからも安曇野であり続けるために…。



9月定例会報告

・高齢者の新型コロナウイルス感染症予防接種の実施に関する予算が含まれる一般会計補正予算に反対討論しました。理由は、新たに追加されるレプリコンワクチンの安全性への疑問、コロナワクチン接種による被害認定数が過去のワクチン接種に比べて大きいこと、自治体への助成を基金管理団体に委託することによる国の責任があいまいになるのではないかという疑問、そして接種の実施主体である市の取り組みの姿勢が弱いと感じることです。※対象者には接種券が一斉送付されますが、ぜひご自身でも情報を検索してご判断ください。

・行政裁判で市が勝訴した際の訴訟費用の請求について、前市長は請求するケース、しないケースとありました。太田市長になってからは請求していませんが、どのような考えがあるのか質問しました。「市政を問う市民の権利として行政裁判はあり、その権利行使を委縮させる可能性もある裁判費用の請求はしない。」との行政答弁でした。市が市民の権利として行政裁判を認め、それを委縮させるそことはしないと公の場で述べたことは大きいです。

望三郎市議がゆく 第42話

『議会の政策提言』

出演 ☆ 望市議・にじと・ピース

にじと 安曇野市議会は市行政へ政策提言をしているんだよね？
ほうさん 3つの常任委員会ごとにテーマを決めて取り組んでいるよ

望さんのいる福祉教育委員会のテーマは？

『子どもの権利条例の制定』だよ。

「子どもの権利の4原則」
① 生命・生存・発達に対する権利
② 子どもの最善の利益
③ 子どもの意見の尊重
④ 差別の禁止

条例をつくるには、たくさんの調査研究が必要だけど、委員会のみんなで頑張っているよ
意見交換 視察

議会の議決機能だけでなく、政策提言機能も高めていくよ
条例だって、がんばれば作れるね